



日進市 内水ハザード マップ



大雨に備えて

近年、ゲリラ豪雨や台風などによる大規模な浸水被害が各地で年々増加しています。

このような大雨による被害を最小限にするため、市民一人ひとりが浸水被害に備えるとともに、いざという時に適切な行動がとれるよう、「日進市内水ハザードマップ」を作成しました。

マップの構成

おもて



水害発生メカニズム→風水害に備えよう(1)(2)→風水害情報を入手しよう(1)(2)→避難時の心得の順に掲載しています。

うら

防災関係機関、避難場所等の位置情報が掲載されていますが、ここにわが家の最寄りの避難所や避難ルート等を書き込んでおくと便利でしょう。

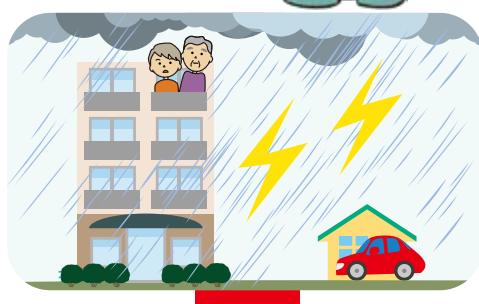


水害発生メカニズム



■ 大雨の発生

- 台風による大雨
- 積乱雲による大雨



- 梅雨前線・秋雨前線などによる大雨
- 短時間の集中豪雨

内水はんらん 内水ハザードマップ

街などに降った雨は、下水道(雨水)などを通して川に排水されます。

雨が連続と河川の水位が上がり、排水ができなくなると下水道(雨水)から水が溢れてしまいます。



さらに雨が降ると



外水はんらん 洪水ハザードマップ

河川の水位が上がり続け、堤防いっぱいまで水位が上がると堤防への水の圧力が強くなります。

水の圧力に堤防が耐えられなくなった場合、堤防の一部が崩れ始めます。

崩れた場所は一気に拡がり、勢いよく水が流れ出します。



どのような水害が起こる可能性があるのか、内水ハザードマップ、防災対策マップ、洪水ハザードマップを合わせて確認しましょう。



内水ハザードマップ



防災対策マップ



洪水ハザードマップ

風水害に備えよう(1)



風水害は、基本的にいつ・どこで起こるかわかりません。いざというときに慌てないように、実際に災害が発生したときのことを想定して、日頃から備えておきましょう。

- 避難先および避難経路について確認しておきましょう。



- 日頃から、災害用品や非常持出品を用意しておきましょう。



- 一人暮らしのお年寄りなど、避難の際に支援が必要な方に目を配りましょう。



- 最新の気象状況や災害情報に注意しましょう。



- いざという時に備えて、家のまわりを点検・整備しておきましょう。

災害の備え点検・安全対策



- 浸水防止のため、道路の側溝や雨水ますの点検のご協力をお願いします。



風水害に備えよう(2)



備蓄と非常持出品を
用意しておきましょう



風水害発生時には、食料供給の減少や食料品・生活用品の需要が一時的に集中し、品薄状態や売り切れ状態になるおそれがあります。電気、ガス、水道が止まることを想定して、家庭での備蓄を行いましょう。

飲料水や食料は、一週間程度(最低でも3日分)の準備はしておきましょう。

家庭にストックしておく災害用品例

- | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> ガムテープ | <input type="checkbox"/> 家族の写真 |
| <input type="checkbox"/> 食料品 | <input type="checkbox"/> ポリタンク | <input type="checkbox"/> 下着・靴下 |
| <input type="checkbox"/> カセットコンロ | <input type="checkbox"/> 毛布 | <input type="checkbox"/> オムツ |
| <input type="checkbox"/> カセットボンベ | <input type="checkbox"/> ごみ袋・ポリ袋 | <input type="checkbox"/> ミルク |
| <input type="checkbox"/> 予備の電池 | <input type="checkbox"/> 常備薬 | <input type="checkbox"/> 簡易(携帯)トイレ |
| <input type="checkbox"/> トイレットペーパー | <input type="checkbox"/> 紙皿・紙コップ | <input type="checkbox"/> ブルーシート |

感染症対策用品

- | |
|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> マスク |
| <input type="checkbox"/> 消毒液 |
| <input type="checkbox"/> 体温計 |
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ |
| <input type="checkbox"/> スリッパ |
| <input type="checkbox"/> ビニール手袋 |

ローリングストック法

普段の食料品を少し多めに買い置きし、消費した分を補充するローリングストック法を実践すれば、手軽に備蓄に取り組むことができます。生活用品にも応用できます。

その1

普段の食料品を少し多めに買い置き
(保存期間の長いものを)

その2

チェックリストを作成し、賞味期限を
考えながら消費

その3

消費した分を補充



非常持出品のチェックリスト

○年 ○月 ○日 確認

避難するときには持ち出す必要最小限のものを非常持出袋に入れて、玄関などのすぐに取り出せる場所に保管しましょう。

- | 貴重品 | 非常食 | 防災用品 | 必要に応じて用意するものなど |
|-------------------------------------|------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 現金(10円玉含む) | <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 携帯電話の充電器 |
| <input type="checkbox"/> 通帳の写し・印鑑 | <input type="checkbox"/> 乾パンやクラッカー | <input type="checkbox"/> ライター、ろうそく | <input type="checkbox"/> 予備の眼鏡、補聴器など |
| <input type="checkbox"/> 運転免許証の写し | <input type="checkbox"/> レトルト食品・缶詰 | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | <input type="checkbox"/> 簡易(携帯)トイレ |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証の写し | <input type="checkbox"/> ナイフ、缶切り | <input type="checkbox"/> ヘルメット | <input type="checkbox"/> トイレットペーパー |
| | <input type="checkbox"/> はし、スプーン | <input type="checkbox"/> 笛(ホイッスル) | <input type="checkbox"/> 生理用品 |
| 医療用品 | 生活用品 | 衣類等 | <input type="checkbox"/> 乳幼児用食品(粉ミルク等) |
| <input type="checkbox"/> 常備薬の予備 | <input type="checkbox"/> ポリ袋 | <input type="checkbox"/> マスク | <input type="checkbox"/> おむつ(乳児、高齢者用) |
| <input type="checkbox"/> 救急医薬品 | <input type="checkbox"/> 新聞紙 | <input type="checkbox"/> 上着・下着・靴下 | <input type="checkbox"/> アレルギー対策食品 |
| <input type="checkbox"/> ばんそうこう、消毒液 | <input type="checkbox"/> ティッシュペーパー | <input type="checkbox"/> レインコート・防寒衣 | <input type="checkbox"/> 口腔ケア用品
(歯ブラシセット・洗口液)
(口腔ウェットティッシュ等) |
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> ラップフィルム | <input type="checkbox"/> タオル | |

➡ わが家の保管場所

●風水害発生時に必要となるものは人によって異なります。必要に応じて項目を加えたり、定期的に中身の点検を行いましょう。

わが家の防災メモ



火事・救急
119番

警察
110番

家族との連絡先

家族の名前	生年月日	会社名・学校名など	電話番号	血液型

緊急連絡先

連絡先	電話番号	連絡先	電話番号
日進市役所	0561-73-7111	愛知中部水道企業団(上水道)	0561-38-0030
保健センター(救護所)	0561-72-0770	中部電力パワーグリッド(株)天白営業所	0120-929-479
市民会館(救援物資受付所)	0561-72-0955	東邦ガスネットワーク(お客様サポート)	052-872-9238
中央福祉センター(ボランティア受付所)	0561-73-4885	西日本電信電話(株)	113
日進消防署	0561-73-0119		
愛知警察署	0561-39-0110		
名古屋鉄道(株)豊田市駅	0565-32-0336		
名古屋市交通局地下鉄赤池駅	052-802-2264		



わが家の約束事を書き込んでみよう



避難場所や避難所…

避難ルート…
(気をつけること等)

その他(子どもの引き渡し方法など)…



災害用伝言ダイヤル(171)の使い方

災害用伝言ダイヤルは、災害の発生により電話がつながりにくい状況になった場合に開始される「声の伝言板」です。サービスの開始は、テレビやラジオなどで広報されます。体験利用することができますので、使い慣れておくと良いでしょう。

体験利用提供日

毎月1日及び15日

正月三が日：1月1日～3日

防災とボランティア週間：1月15日～21日

防災期間：8月30日から9月5日

どなたでもご利用できます。(事前契約等は不要です。) 音声案内に従ってボタンを押してください。

1 7 1

伝言するときは

1

() -

30秒以内

伝言する

伝言を聞くときは

2

伝言を聞く

30秒以内

災害用伝言ダイヤルに関する問合せ：NTT西日本 東海支店 116

日進市 総務部防災安全課・建設部道路河川課

〒470-0192 日進市蟹甲町池下268番地 TEL(0561)73-7111(代表) FAX(0561)74-0258

ホームページ <https://www.city.nisshin.lg.jp>

風水害情報を入手しましょう(1)



防災情報・緊急情報の提供



正確な情報収集

風水害に関する情報を的確に入手することは、自分の身を守る上で重要なことです。最新の情報をこまめに確認して常に状況を把握し、自らの命を守るための行動を優先して行いましょう。

正確な情報収集と自主的避難を

ラジオやテレビ、SNSなどで、最新の気象情報や水害情報、避難情報を確認しましょう。少しでも危険を感じたら、早めに自主的な避難を心がけましょう。



避難の呼びかけに注意を

危険が近づいたとき、市役所や消防署から避難の呼びかけが行われることがあります。呼びかけがあったときは、すぐに避難しましょう。

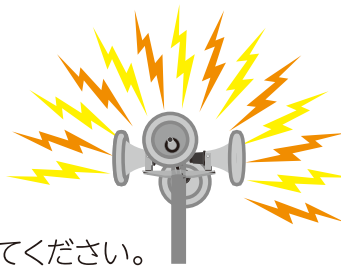


防災サイレン

このQRコードはサイレン音が視聴できるページに移動します。



サイレンの鳴り方は、下の2種類です。サイレン音を聞いたら、テレビやラジオなどでその内容を確認し、直ちに身を守る行動をとってください。



風水害、土砂災害時等の避難指示

避難信号

有事に関する情報

- ・弾道ミサイル
- ・ゲリラ、特殊部隊
- ・航空攻撃・大規模テロ等

<おもなサイレンのなり方>

●3秒の吹鳴と休止を9回繰り返す

ウー→ (休止) ウー→ (休止) ウー→ (休止)

3秒吹鳴 3秒吹鳴 3秒吹鳴

●14秒の吹鳴と休止を3回繰り返す

ウー→ (休止) ウー→ (休止)

14秒吹鳴 14秒吹鳴

エリアメール 配信内容

- ・高齢者等避難 避難指示 緊急安全確保
- ・土砂災害警戒情報 緊急地震速報

風水害情報を入手しましょう(2)



風水害に
備えましょう



警戒レベルと避難情報

日進市から「警戒レベル③、④」が発令された地域にお住まいの方は、速やかに避難してください。「警戒レベル③」で高齢者等は危険な場所から避難をし、「警戒レベル④」で危険な場所から全員避難してください。

警戒レベル	住民が取るべき行動	行動を促す情報	防災気象情報	
			浸水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5		緊急安全確保 (日進市が発令) <small>きん きゅう あん ぜん かく ほ</small>	氾濫発生情報	大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ 警戒レベル4までに必ず避難! ~~~~~				
4		<b>避難指示</b> (日進市が発令) <small>ひ なん し じ</small>	<b>氾濫危険情報</b>	<b>土砂災害警戒情報</b>
3		<b>高齢者等避難</b> (日進市が発令) <small>こう れい しゃ とう ひ なん</small>	<b>大雨警報 洪水警報</b>	<b>洪水警報</b>
2		<b>大雨・洪水</b> (気象庁が発令)	<b>氾濫注意情報</b>	<b>大雨注意報 洪水注意報</b>
1		<b>早期注意情報</b> (気象庁が発令)	—————	—————

市長は、河川や雨の情報(防災気象情報)のほか、地域の土地利用や災害実績等も踏まえ総合的に**避難情報等(警戒レベル)**発令判断をすることから、**警戒レベル**と**警戒レベル相当情報**が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

災害の危険性	警戒レベル	発令される場合
高	大雨特別警報	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想される場合
	土砂災害警戒情報	大雨による土砂災害発生の危険度が高まった時
	大雨警報	大雨によって、重大な災害が起こるおそれがある場合
低	大雨注意報	大雨によって、災害が起こるおそれがある場合

## <雨の強さ(一時間降水量)>

<b>やや強い雨</b> 10~20mm 	<b>強い雨</b> 20~30mm 	<b>激しい雨</b> 30~50mm 	<b>非常に激しい雨</b> 50~80mm 	<b>猛烈な雨</b> 80mm以上 
雨の音で話し声がよく聞き取れない。この程度の雨でも、長く続くときは注意が必要。	どしゃ降り。地面一面に水たまりができる。側溝や下水、小さな川があふれることがある。	バケツをひっくり返したように降る。道路が川になる。山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。	滝のように降る。水しぶきで一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。土石流が起こりやすく、発生する可能性が高くなる。	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる。雨による大規模な災害が発生する恐れが強く、厳重な警戒が必要。

### 記録的短時間大雨情報

大雨警報発表時に、現在の降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、まれにしか観測しない雨量であることをお知らせするために愛知県気象情報の一種として発表するものです。愛知県の場合、1時間に100mm前後の雨を観測したり、解析されたときに発表されます。

## 自主防災会・防災訓練に参加しましょう

### 平常時の取り組み

- 防災資機材の準備
- 避難経路・危険個所の確認



### 災害時の活動

- 住民の安否確認
- 被害状況の収集・伝達
- 水防活動



# 避難時の心得



## その1 情報収集



テレビ、ラジオ、携帯電話またはスマートフォン、防災行政無線、広報車等から情報を集めましょう。

## その2 避難ルートの事前確認



いざという時に備えて、普段から家族で避難ルートを決めておきましょう。

## その3 避難するときは

高齢者や身体が不自由な方の避難を手助けし、助け合って避難しましょう。

車での避難は道路冠水で動けなくなることがあるので、徒歩で避難しましょう。



## その4

### 無理な避難の回避

もし逃げ遅れたときには、無理に避難せず、**2階以上**等、屋内の安全な場所に避難しましょう。  
(水平避難から**垂直避難**へ)

### 立ち退き避難 (水平避難)

避難行動には、自宅から避難所や安全な場所へ移動すること。



### 屋内安全確保 (垂直避難)

避難行動には、自宅などの建物の上の階に留まって、安全を確保すること。



## やむなく浸水の中を歩かなければならないときの注意

軍手(手袋)を着用する。

ひもでしっかり締められる運動靴をはきましょう。



傘は使わず、雨合羽を着用する。

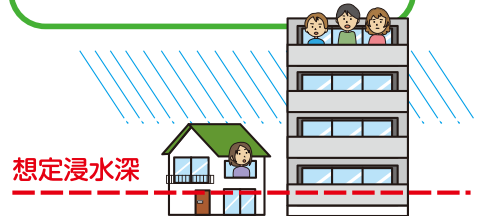
非常持出品はリュックサックに!

長い棒を杖にして、安全確認しながら歩きましょう。

水面下には、マンホールや障害物などがあり、危険です。



安全な場所にいる場合、浸水深が高い場所は**在宅避難 (垂直避難)**を選択しましょう。



頼れる人がいれば、避難場所以外の避難場所も考えましょう。

